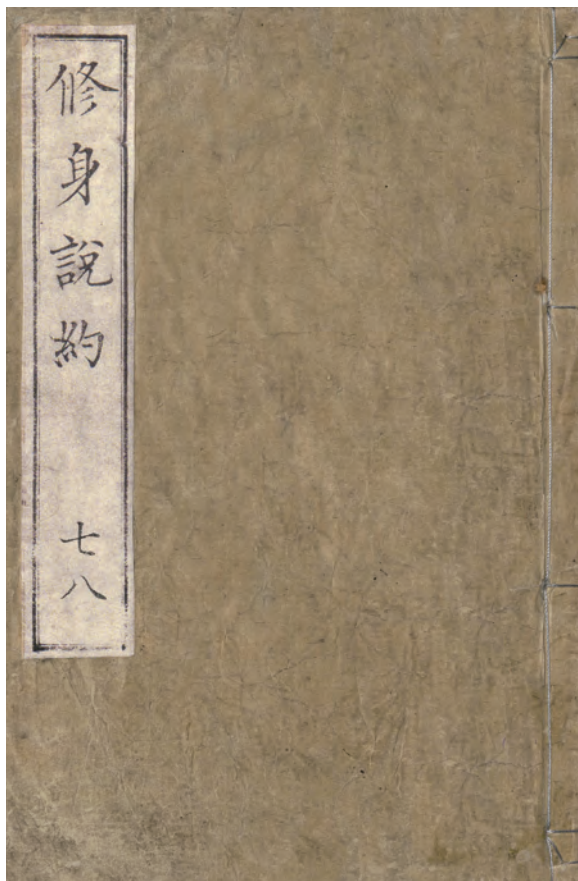


# 修身説約 卷ノ七、八

復刊版



群馬地域文化振興会



綴卷ノ便宜ニ從ヒ七八ノ卷ヲ合シ  
テ一卷ト爲セリ第十八章以下ハ即  
八ノ卷ナリ看官之ヲ諒セヨ

明治十一年十二月廿五日

編者識

修身說約卷ノ七

木戸 麟 編纂

第一

青砥左衛門藤綱ハ、相摸守平貞時ニ仕ヘテ、采邑  
數十所ヲ領シ、其ノ家富饒ナレド、私事ハ極メテ  
節儉ヲ行ヒ、公事ニハ、則金銀ヲ擲チテ、吝マザル  
コト、敝屣ヲ捨ツルガ如シ、其ノ他貧窶ノ者ニハ、  
衣食ヲ給シ、遠方ノ訴訟人、貧ニシテ鎌倉ニ留ル  
コト能ハザル者等ニハ、其ノ資ヲ與ヘテ、志ヲ成  
サシメタリ、曾一士人ノ訟ヘアリ、事相摸守ニ關

スルヲ以衆吏論  
 ジテ、士人ヲ非ト  
 セリ、藤綱、權貴ヲ  
 避ケズ、是ヲ是ト  
 シ、非ヲ非トシケ  
 レバ、士人之ヲ恩  
 トシ、其ノ國ニ歸  
 ラントスルニ及  
 ビテ、之ニ報ヒン  
 ト欲スレドモ、清



廉ナル藤綱ナレバ、之ヲ公言スルコト能ハズ、錢  
三百貫ヲ包ミテ、竊ニ藤綱ノ屋後ノ山ニ上リ、之  
ヲ推シテ其ノ邸中ニ落セリ、藤綱、之ヲ見テ笑ヒ  
テ曰ハク、是必彼ノ士ノ爲ル所ナラン、我ノ正レ  
ク事ヲ處セレハ、主君ヲ思ヒテナリ、若贈物ヲ得  
ルノ理アラバ、之ヲ主君ヨリ受ク可キナリト、乃  
之ヲ彼ノ士人ノ家ニ送り返セリト云フ、

第二

法國ノ王ルイ第十四曰ハク、定期ヲ愆ラザルハ、  
國王ノ禮儀ナリト、豈唯國王ノミナランヤ、人ノ

必守ルベキコトナリ、人苟定期ヲ愆ラザルトキハ、速ニ他人ノ倚信ヲ得可レ、昔「ワレントン」ニ仕フル一書記アリ、嘗期限ニ後レテ來リ、其ノ罪ヲ時辰儀ニ歸シケレバ、「ワレントン」徐ニ曰ハク、然ラバ、汝、必、他ノ時辰儀ヲ求ムベシ、否ズハ、我、他ノ書記官ヲ求ムベシト言ヘリ、

### 第三

漢ノ范式字ハ巨卿、少クシテ大學ニ遊ビ、河南ノ張邵ト友タリ、二人各郷里ニ歸ルトキ、式、邵ニ二年ノ後、君ノ尊親ヲ拜ス可シト言ヒケレバ、期ニ